

市駅周辺再整備 新庁舎整備

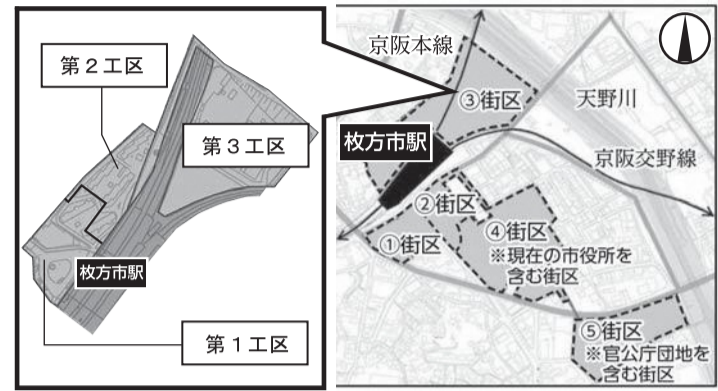
③街区と周辺のまちづくり ④⑤街区の市有地の有効活用

理事者による説明の概要

全員協議会を開催 10議員が質問

今回の主な説明内容

③街区と周辺のまちづくり ▶効果的に進めるために施行区域を3つの工区(左下図)に分けて実施している。市街地再開発事業の進捗状況 ▶第3工区内の建物の供用開始に合わせて予定している、市駅前行政サービスの再編に係る取組状況 ▶市も参画している、産官学の連携で設立された枚方HUB協議会における取組状況



④⑤街区の市有地の有効活用に向けて ▶④⑤街区のまちづくりを進めるための今後の流れ(案) ▶④街区の民間活力導入エリアの検討に際しての前提条件(案) ▶市民意見聴取の方法(アンケート、ワークショップの実施等) ※詳細は下記参照 (参考)市駅周辺再整備における街区図

④⑤街区の市有地の有効活用に向けて

■④⑤街区のまちづくりを進めるための今後の流れ(案)
3年8月までに市民意見聴取を実施し、並行して他市事例を研究。⇒3年秋に市民意見聴取の結果報告(速報版)及び④街区の民間活力導入エリアの魅力を高めるコンテンツ(以下、コンテンツ)の検討・集約。⇒3年12月にコンテンツ(案)の報告。⇒4年2月に④⑤街区の市有地の有効活用の方策(案)を報告。

④街区の民間活力導入エリアの検討に際しての前提条件

・市民会館大ホール跡地の活用【大ホールの解体・造成に係る事業手法の比較(案)】

事業費	A案(土地区画整理事業)	B案(市単独事業)
①市支出	補助金 約10.6億円	工事費 約1.6億円
②市収入	国費 約5.3億円 移転補償費 約9.0億円	-
①-②	約▲3.7億円 ▲差額 約5.3億円	約1.6億円

④街区における新たな道路【新たな道路の必要性と事業手法の比較(案)】

事業費	A案(土地区画整理事業)	B案(一般街路事業)
①市支出	補助金 約37.7億円	市負担額 約41.9億円
②市収入	国費 約18.9億円 移転補償費 約29.5億円	国費 約10.5億円 移転補償費 約29.5億円*
①-②	約▲10.7億円 ▲差額 約12.6億円	約1.9億円
実現性	8年度に既設道路を活用した暫定供用	7年度に既設道路を活用した暫定供用



*大ホール、庁舎跡地の補償費が国費対象になるかは不確定要素あり

市駅(南口)駅前広場の機能強化とウォークパブルの推進(歩行者優先の空間を形成等)や④街区の土地利用の促進(魅力の高い施設整備)には新たな道路が必要。

新たな土地利用(民間活力導入エリア)【⑤街区庁舎案、④街区庁舎案の比較(案)】

	⑤街区庁舎案	④街区庁舎案
公園・広場機能の拡充	約5,700㎡	約3,400㎡
	約16,300㎡	約7,100㎡
新たな土地利用	④街区:約12,300㎡ ⑤街区:約4,000㎡	④街区:約4,900㎡ ⑤街区:約2,200㎡
実現性	7年度から大ホール跡地の利用可能 13年度に新庁舎完成	11年度に新庁舎完成 12年度から現庁舎跡地の利用可能

*面積などの数値は現時点で決まったものではなく、今後、具体化を図る際に権利者などの意見を聞きながら定める。

議会は、7月9日に、一枚方市駅周辺再整備における取り組み状況について一案件とした全員協議会を開催しました。本市では、これまでから新庁舎整備を含む市駅周辺再整備の具体化に向けて取組を進めており、「基本構想」に基づき、

③街区と周辺のまちづくりや④⑤街区の市有地の有効活用に向けた進め方など、現在の進捗状況及び今後の予定について理事者から説明を受け、内容は左欄参照。引き続き10人の議員が質問を行いました。

QA 全員協議会 質問と答弁

対象範囲とするが、同協議会の構成は③街区の関係者が中心である。他のエリアの議論も深めるべきだが、市が同協議会に参画する意義を問う。答弁 市駅周辺再整備に係る課題解決に寄与する観点から、エリアマネジメントを推進する観点から、市駅周辺全体を

トの仕組みづくりや魅力創出につながる施策検討の意見交換等を行う。積極的な市民参画への仕組みづくりを

④街区の民間活力導入エリアへの誘致施設等に関し、アンケートやワークショップで市民意見を聴取する目的を問う。答弁 市民参画の仕組みづくりを今後積極的に進めるよう要望する。答弁 包括連携協定に基づくUR都市機構の助言に加え、市民の意見、アイデア等を募集するもので、それらを参考に④⑤街区の市有地の有効活用の方策を策定する。

④街区の民間活力導入エリアへの誘致施設等に関し、アンケートやワークショップで市民意見を聴取する目的を問う。答弁 市民参画の仕組みづくりを今後積極的に進めるよう要望する。答弁 包括連携協定に基づくUR都市機構の助言に加え、市民の意見、アイデア等を募集するもので、それらを参考に④⑤街区の市有地の有効活用の方策を策定する。

④街区の民間活力導入エリアへの誘致施設等に関し、アンケートやワークショップで市民意見を聴取する目的を問う。答弁 市民参画の仕組みづくりを今後積極的に進めるよう要望する。答弁 包括連携協定に基づくUR都市機構の助言に加え、市民の意見、アイデア等を募集するもので、それらを参考に④⑤街区の市有地の有効活用の方策を策定する。

④街区の民間活力導入エリアへの誘致施設等に関し、アンケートやワークショップで市民意見を聴取する目的を問う。答弁 市民参画の仕組みづくりを今後積極的に進めるよう要望する。答弁 包括連携協定に基づくUR都市機構の助言に加え、市民の意見、アイデア等を募集するもので、それらを参考に④⑤街区の市有地の有効活用の方策を策定する。

長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定を可決 複数年度にわたる契約の対象を拡大

議会は、9月9日の本会議で、「枚方市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例」の制定を可決し、条例の制定を原案のとおり、満場一致で可決しました。本条例は、地方自治法

で具体的に定める契約以外の設定により対応することが可能と判断した。対象を定めるもので、大せずとも、債務負担行為の設定により対応することが可能と判断した。対象を定めるもので、大せずとも、債務負担行為の設定により対応することが可能と判断した。

また、生活苦で返済困難な人への支援を問う。答弁 連帯保証人がいる10件の催告書を送付したところ、4件の連絡があり、全額返済、分割返済、債権放棄、返済に至らないものが各1件であった。また、催告書には、返済を促すとともに、返済が難しい場合は相談ができる旨を記載している。

概要は次のとおりです。なお、()内は基金額。①くらしの資金貸付基金(997万円)：貸付3件、29万円。返済299件、382万円。不納欠損36件、3771万円。②土地開発基金(7億1545万円)：全額を土地取得特別貸付金として、水洗便所改修費を997万円、全額を金融機関に預託融資5件、140万円。※1万円未満四捨五入

この街に住みたい基金を廃止し、この街に住みたい基金を減額。この街に住みたい基金の廃止後、同基金の目的である行政効果の見える化を図るのか。答弁 削減事業と新規拡充事業を比較し、本市の魅力を向上しているかを検証するよう要望する。

この街に住みたい基金を廃止し、この街に住みたい基金を減額。この街に住みたい基金の廃止後、同基金の目的である行政効果の見える化を図るのか。答弁 削減事業と新規拡充事業を比較し、本市の魅力を向上しているかを検証するよう要望する。

この街に住みたい基金を廃止し、この街に住みたい基金を減額。この街に住みたい基金の廃止後、同基金の目的である行政効果の見える化を図るのか。答弁 削減事業と新規拡充事業を比較し、本市の魅力を向上しているかを検証するよう要望する。

この街に住みたい基金を廃止し、この街に住みたい基金を減額。この街に住みたい基金の廃止後、同基金の目的である行政効果の見える化を図るのか。答弁 削減事業と新規拡充事業を比較し、本市の魅力を向上しているかを検証するよう要望する。

この街に住みたい基金を廃止し、この街に住みたい基金を減額。この街に住みたい基金の廃止後、同基金の目的である行政効果の見える化を図るのか。答弁 削減事業と新規拡充事業を比較し、本市の魅力を向上しているかを検証するよう要望する。

この街に住みたい基金を廃止し、この街に住みたい基金を減額。この街に住みたい基金の廃止後、同基金の目的である行政効果の見える化を図るのか。答弁 削減事業と新規拡充事業を比較し、本市の魅力を向上しているかを検証するよう要望する。

この街に住みたい基金を廃止し、この街に住みたい基金を減額。この街に住みたい基金の廃止後、同基金の目的である行政効果の見える化を図るのか。答弁 削減事業と新規拡充事業を比較し、本市の魅力を向上しているかを検証するよう要望する。

この街に住みたい基金を廃止し、この街に住みたい基金を減額。この街に住みたい基金の廃止後、同基金の目的である行政効果の見える化を図るのか。答弁 削減事業と新規拡充事業を比較し、本市の魅力を向上しているかを検証するよう要望する。

用語の解説

*1 枚方HUB協議会…市駅周辺エリアの拠点形成し、社会課題の解決を図りながら持続的に発展を遂げることを目指し、産官学の連携でまちづくりの推進を図ることを目的に設立された協議会。市のほか、鉄道事業者、市内大学、金融機関など9者で構成される。
*2 土地区画整理事業…土地所有者等から公平に一定の土地の提供を受け(減歩)、道路、公園、河川などの公共施設を整備、改善し、土地の区画を整えて宅地の利用増進を図る事業

編集後記 11月3日は文化の日。本市では今年、総合文化芸術センターがオープンし、身近な場所で文化を感じることができるようになったのではないのでしょうか。さて、今号では、9月定例会議の内容を中心に掲載しました。

QA 本会議 質問と答弁 委託料の廃止 納付できない エフエムひらかたの番組がモノづくりの姿勢を評価し、ギャラクシイ賞ラジオ部門選考を受賞したが内容を問う。なお新型コロナウイルス感染症拡大の中情報発信で市民の不安を軽減してきた同社への委託料廃止は納得できないと意見してお

QA 本会議 質問と答弁 安全な土留用に向けた売却後の適切な対応を 今売却する用地は山間部にあり、事業者による盛土が行われると

QA 本会議 質問と答弁 安全な土留用に向けた売却後の適切な対応を 今売却する用地は山間部にあり、事業者による盛土が行われると